

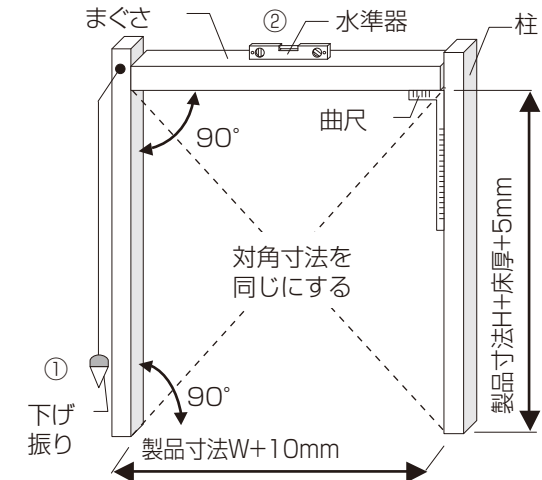
開口部の作り方

※開口部の水平・垂直を正しく出してください。

製品寸法表 (単位：mm)

呼称	W	H
1620	1644	2023

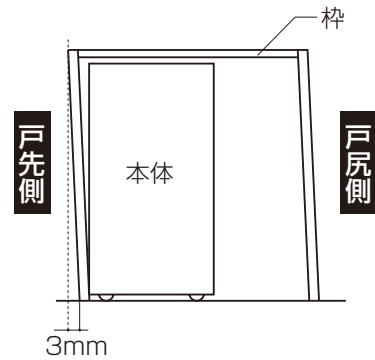
- ①下げ振りを使って、柱が垂直になるように取付けてください。
- ②水準器・曲尺を使って、まぐさが柱と垂直で、水平になるように取付けてください。



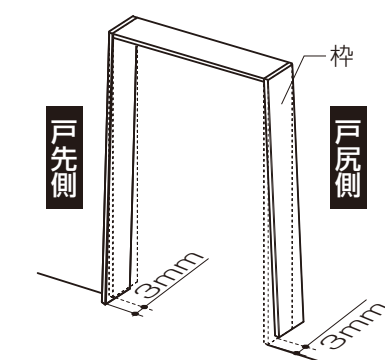
取付け精度の許容範囲

※横方向の倒れ・奥行き方向のねじれ・枠のタイコ・ツツミが3mmを超える場合は、3mm以内になるように取付けを修正してください。(引戸が吊込めない原因となります。)

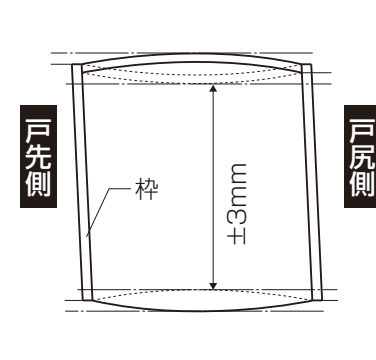
●横方向の倒れ



●奥行き方向のねじれ



●枠のタイコ・ツツミ

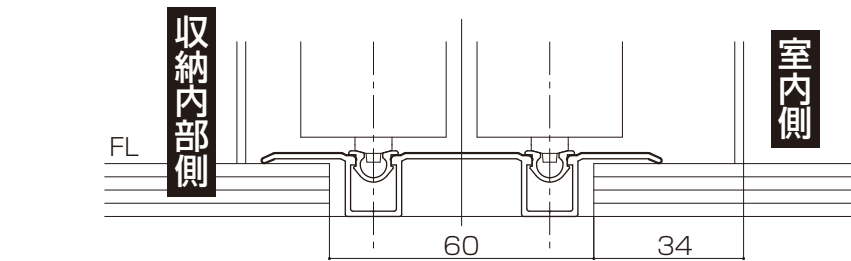


床の張り方

〔埋込敷居の場合〕

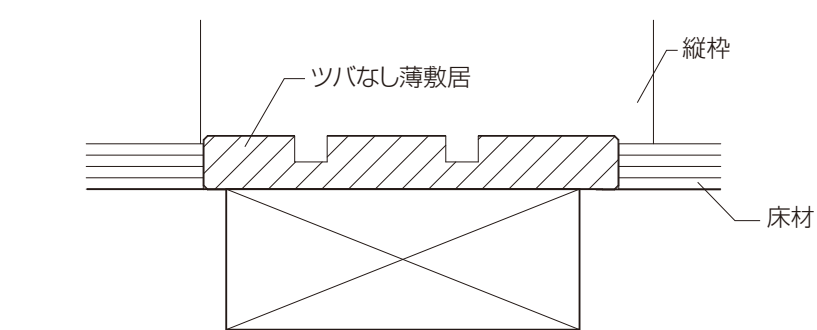
- 下図のように室内側縦枠面より34mmの位置から60mmあけて床材を張ってください。

〔ノンケーシング〕

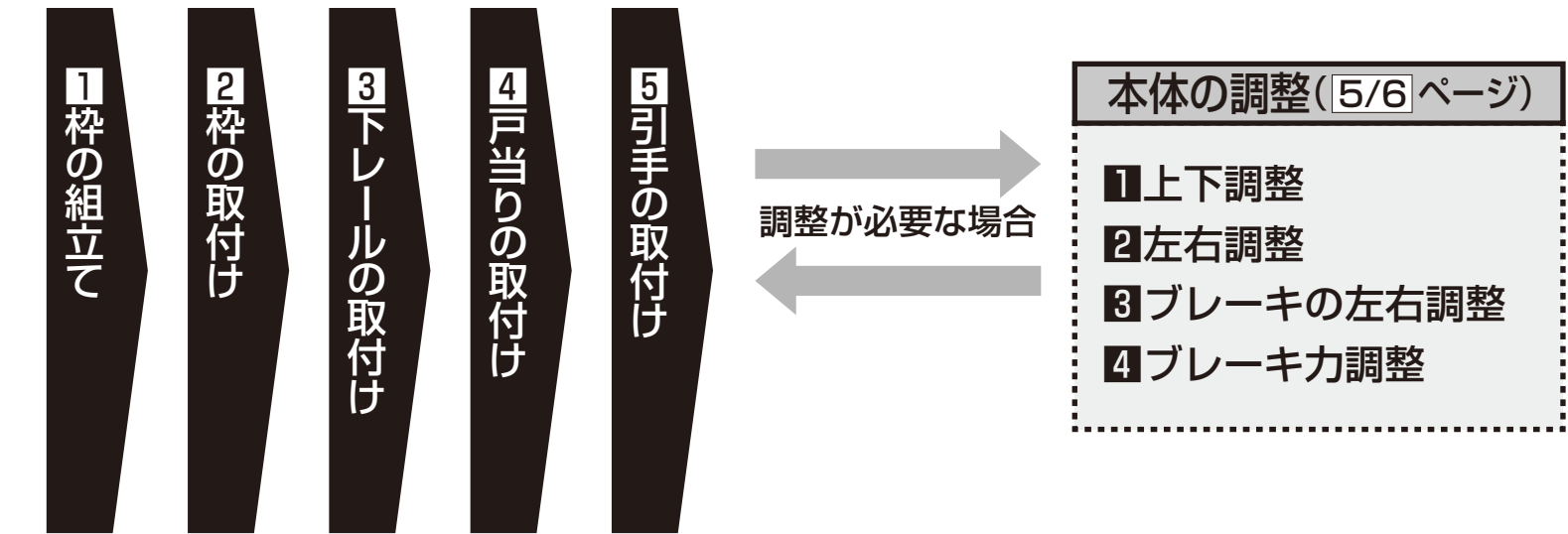


〔ツバなし薄敷居の場合〕

※枠取付け後、縦枠・薄敷居にそって床材を張ってください。



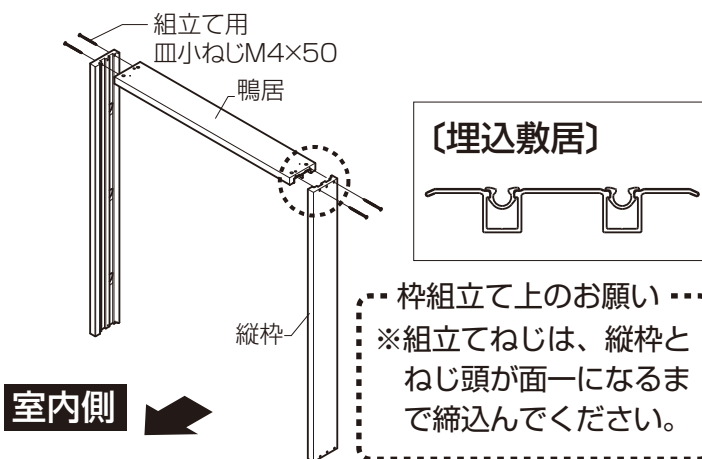
取付け順序



1 枠の組立て

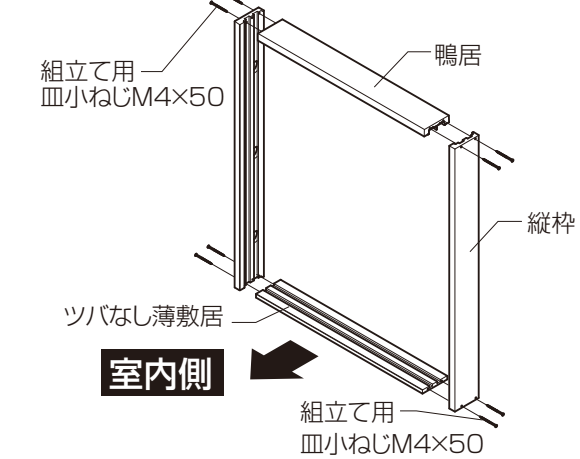
〔埋込敷居の場合〕

- 図のように、各部材を組合わせ、同梱のねじ(皿小ねじM4×50)で固定します。



〔ツバなし薄敷居の場合〕

- 図のように、各部材を組合わせ、同梱のねじ(皿小ねじM4×50)で固定します。



枠組立て上のお願い

- ※ガイド穴にゴミなどが入らないようにしてください。
- ※ねじは、たたき込まないようにしてください。保持力低下などの原因となります。
- ※枠組立て後、揺らす・引っ張るなどの無理な力を加えないでください。破損の原因となります。

■ 2 枠の取付け

開口部と、縦枠・鴨居との間にかい木を入れて取付けます。

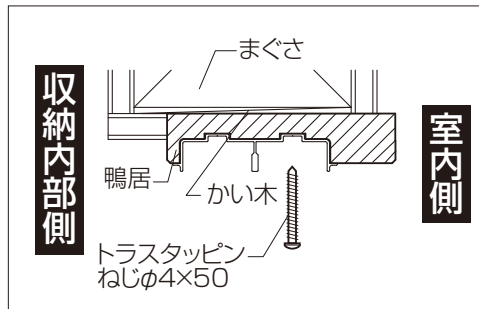
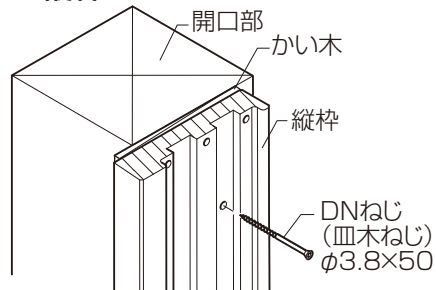
● 鴨居

※ 鴨居はトラストッピン
ねじφ4×50で固定してください。

● 縦枠

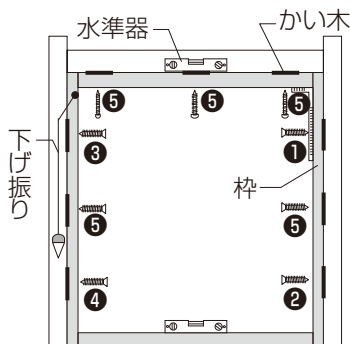
※ DNねじ(皿木ねじ)
φ3.8×50で固定してください。

● 縦枠

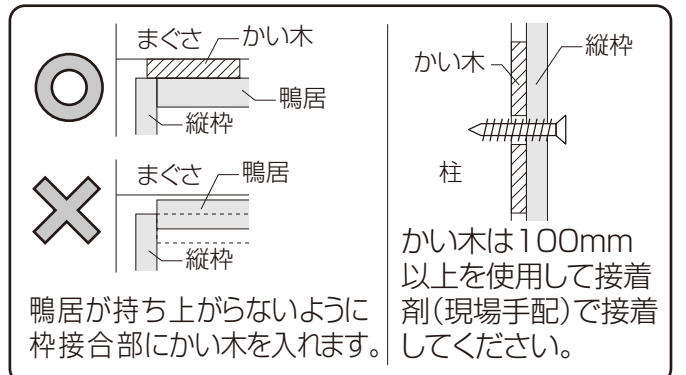


お願い
※ 枠の倒れ、傾き、タイコ、ツツミ、
ねじれがないように取付けてくだ
さい。

《取付け要領》



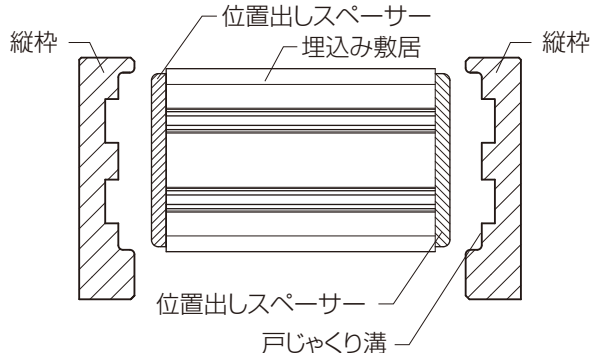
- ① 枠を開口部にはめ込んで、敷居・鴨居の水平を確認してから、縦枠の①を仮固定してください。
 - ② 下げ振りを使って垂直・倒れがないことを確認してから、縦枠の②を仮固定してください。
 - ③ 水準器で敷居・鴨居の水平を確認してから縦枠の③を仮固定してください。
 - ④ 下げ振りを使って垂直・倒れがないことを確認してから、縦枠の④を仮固定してください。
 - ⑤ 枠の水平・垂直を再度確認して、上下、左右のすき間をかい木で調整後、残りのねじで本固定してください。
- ※ 枠に水系を張る等して枠が曲がっていないことを必ず確認してください。



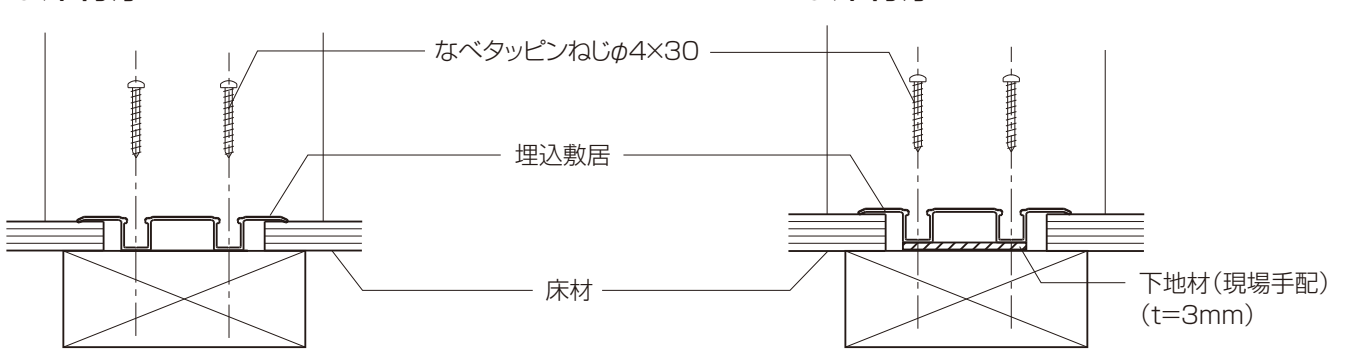
【埋込敷居の場合】

- ① 埋込敷居に付いている位置出しスペーサーを、縦枠の戸じゃくり溝に合わせます。
- ② 同梱のねじ(なベタッピンねじφ4×30)で固定します。

● 床材厚さ12mm



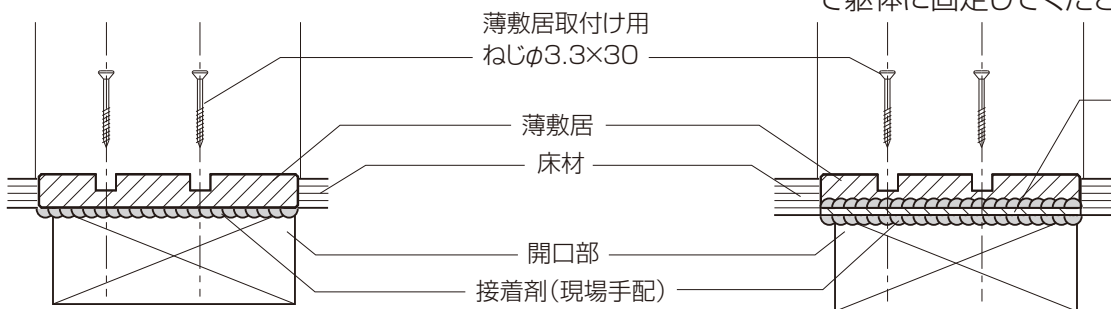
● 床材厚さ15mm



【ツバなし薄敷居の場合】

● 床材厚さ12mm

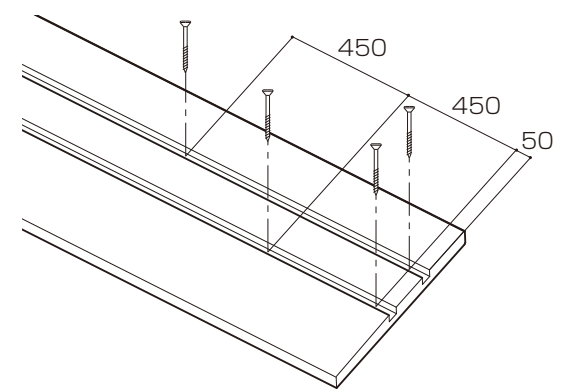
※ 必ず薄敷居に接着剤(現場手配)を付け、薄敷居取付け用ねじφ3.3×30で躯体に固定してください。



● 床材厚さ15mm

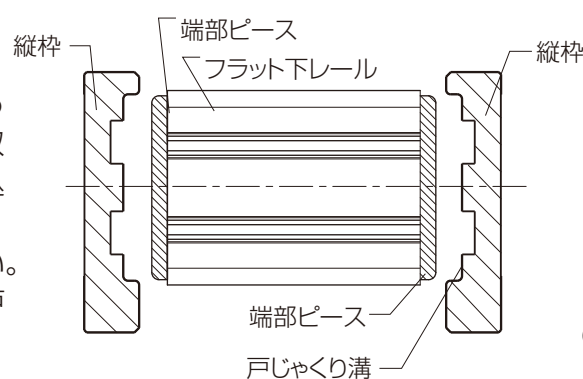
※ 必ず薄敷居と下地材に接着剤(現場手配)を付け、薄敷居取付け用ねじφ3.3×30で躯体に固定してください。

※ 端部より50mm離し、450mmピッチで交互に同梱のねじ(φ3.3×30)で固定してください。

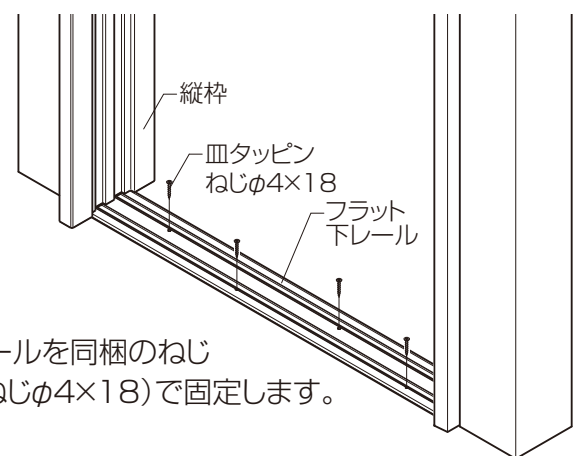


【フラット下レールの場合】

- ① 端部ピースを取付けてください。
※ フラット下レールに同梱されている端部ピースをフラット下レールに取付けて縦枠戸じゃくり溝に、はめ込んでください。
- ② 縦枠に合わせて仮置きしてください。
※ はめ込んだ端部ピースを縦枠の戸じゃくり溝に合わせてください。



- フラット下レールを同梱のねじ(皿タッピンねじφ4×18)で固定します。



お願い

※ 床(下地)は段差やすき間がないように仕上げてからフラット下レールを固定してください。



すき間・空間

お願い

※ 取付けねじを締めすぎないでください。
フラット下レールが変形し、本体開閉不具合の原因となります。

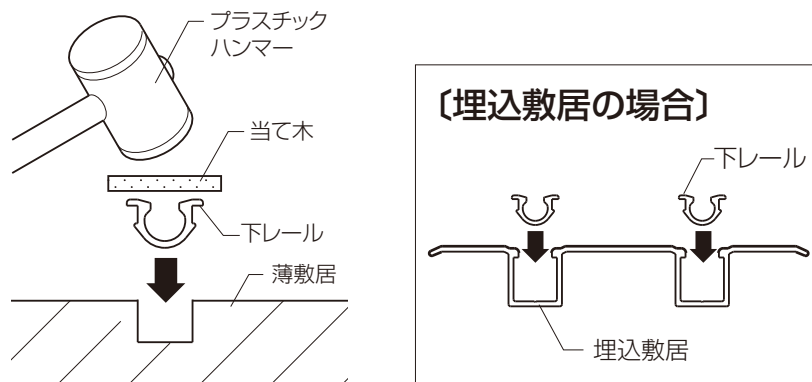


フラット下レール

取付けねじ

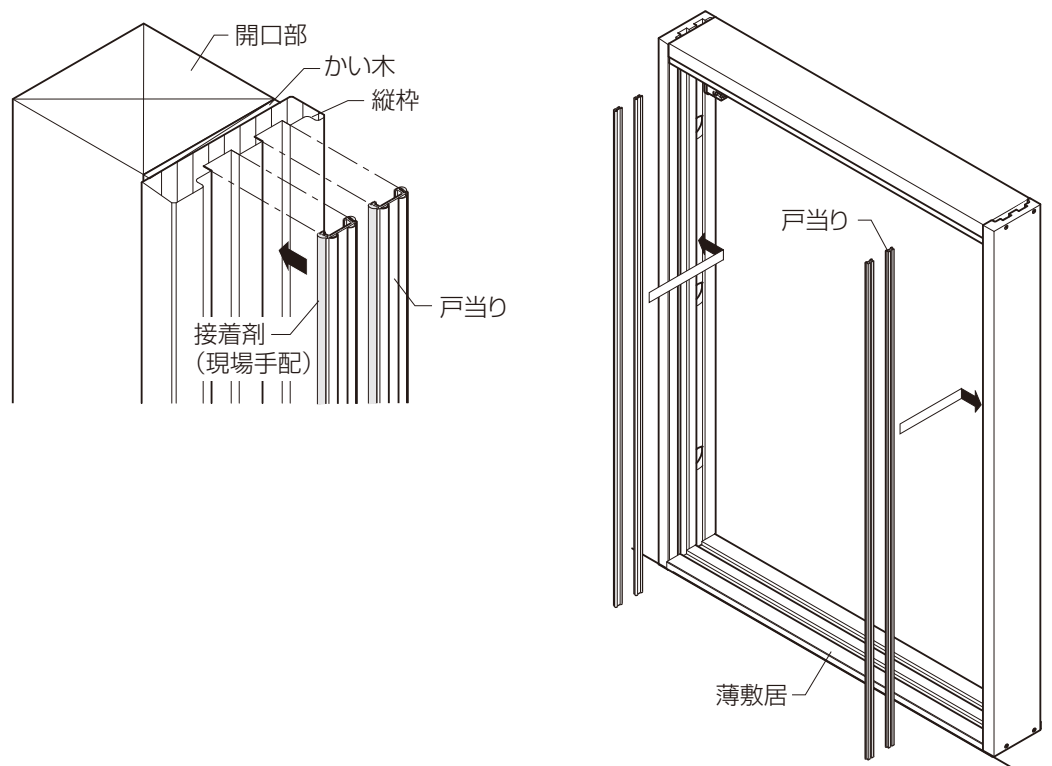
3 下レールの取付け

- 敷居の溝にプラスチックハンマーなどでたたき込んで固定します。



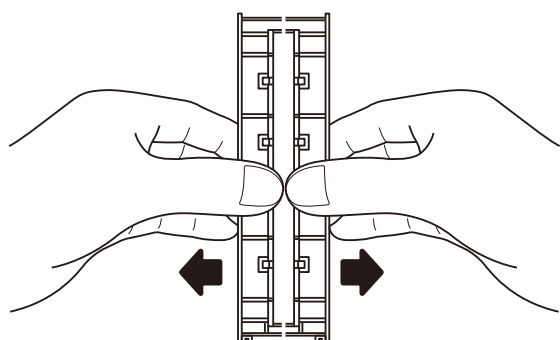
4 戸当りの取付け

- ①戸当りを現場の寸法に合わせて切断します。
- ②戸当りに接着剤(現場手配)を塗布して、溝をふさぎます。
- ※戸当りは必ず、下レール取付け後に取付けてください。

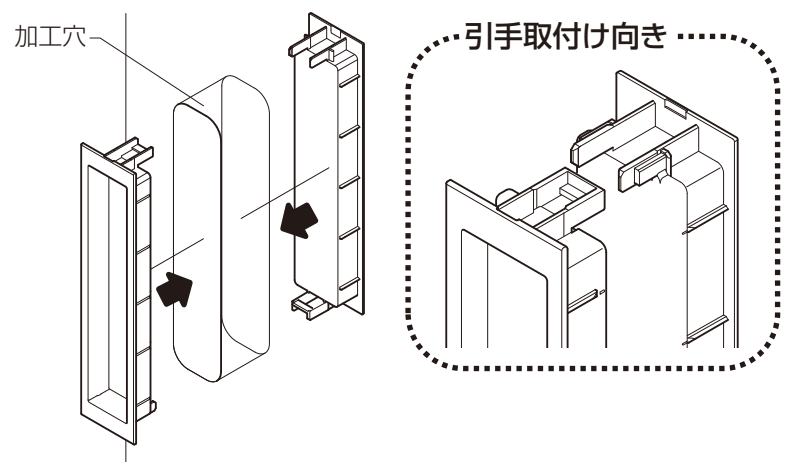


5 引手の取付け

- ①引手は仮組み状態になっています。平行に引き抜いてください。

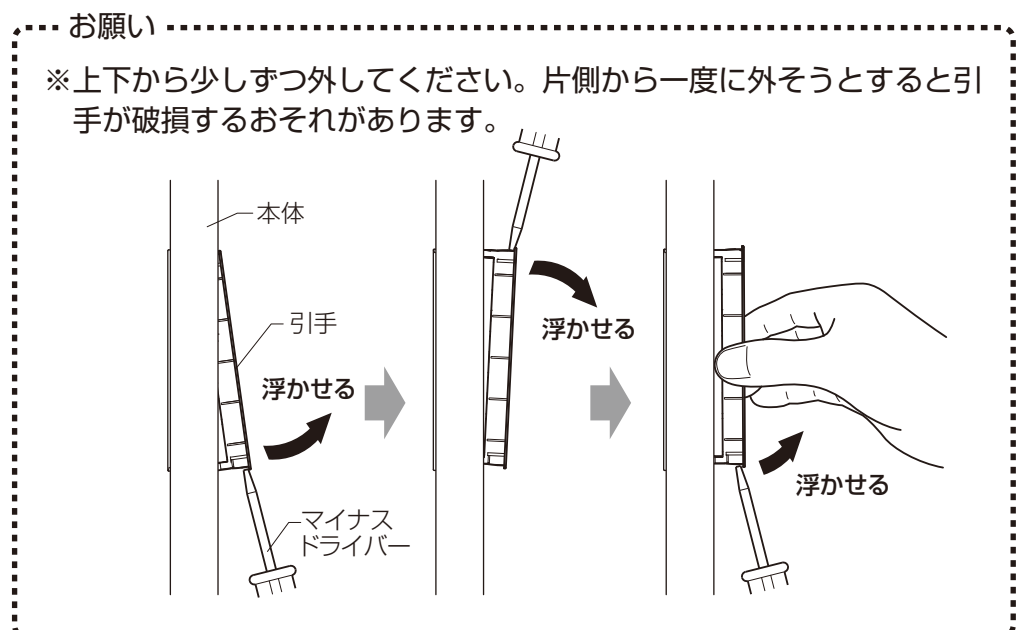
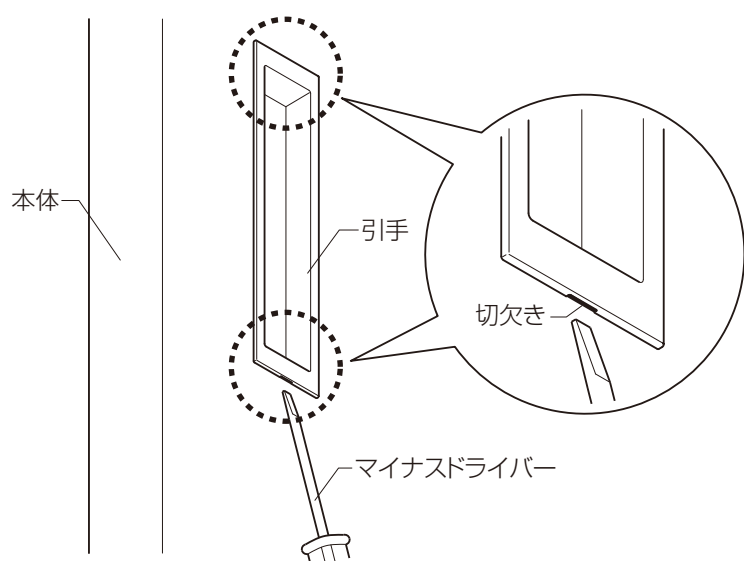


- ②引手本体の加工穴に引手を取付けます。表裏の引手が上下互い違いになる向きにし、加工穴に押し込み固定してください。



●引手の取外し

引手上下にある切欠きに本体をキズ付けないようにマイナスドライバーを差込み、少しずつ引手を浮かせて外します。



■本体の調整

建付け調整の
動画



973347946002

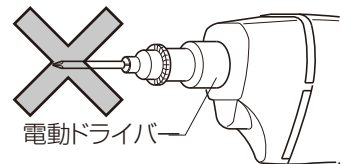
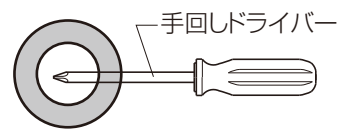
1 上下調整(調整幅 +4mm、-2mm)

※上レールに5mm以上かかるよう調整してください。

- ①本体両下端の上下調整ねじを右に回すと本体が上がり、左に回すと本体が下がります。
- ②調整後、本体の上レールへのかかりが5mm以上あるか、確認してください。

※ 本体の調整は必ず、手回しドライバーを使用してください。

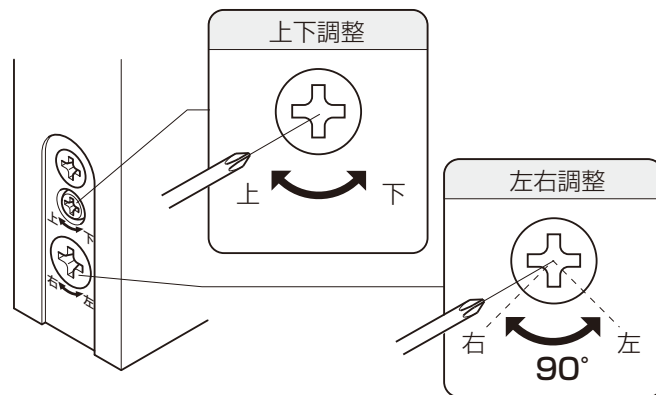
※ 電動ドライバーは、使用しないでください。ねじ頭が壊れるおそれがあります。



2 左右調整(調整幅 ±2mm)

本体両下端の左右調整ねじを左に回すと本体が左に動き、右に回すと右に動きます。

※左右調整ねじの可動範囲は90°です。これを超えて無理に回さないでください。



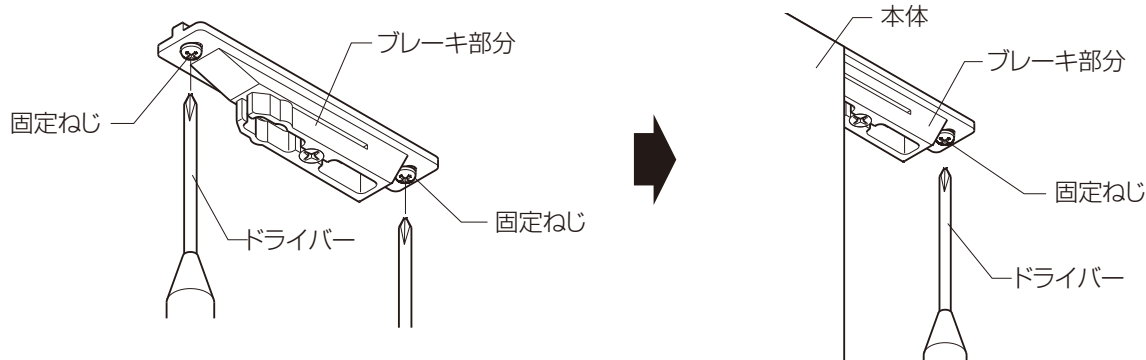
⚠ 注意

●本体の上レールへのかかりを5mm以上確保してください。かかりが少ない場合は、本ページの本体の調整を必ず行ってください。本体が枠から外れてケガをする原因になります。

3 ブレーキの左右調整

●本体の左右調整時、ブレーキの左右調整も行ってください。

上レール内側に付いているブレーキ部品の固定ねじをゆるめ、図のように本体を途中まで閉じてください。このまま片側の固定ねじを締め、本体を開けて反対側の固定ねじも締めてください。

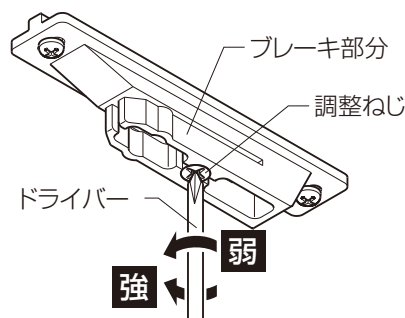


4 ブレーキ力調整

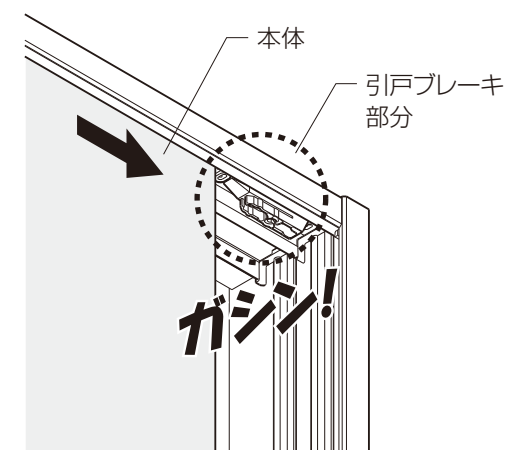
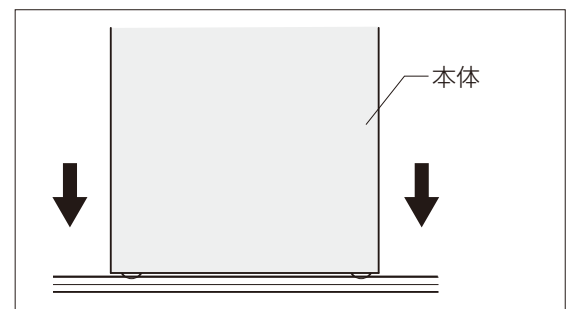
上レール内側に付いているブレーキ部品の調整ねじで、ブレーキ力を調整してください。

お願い

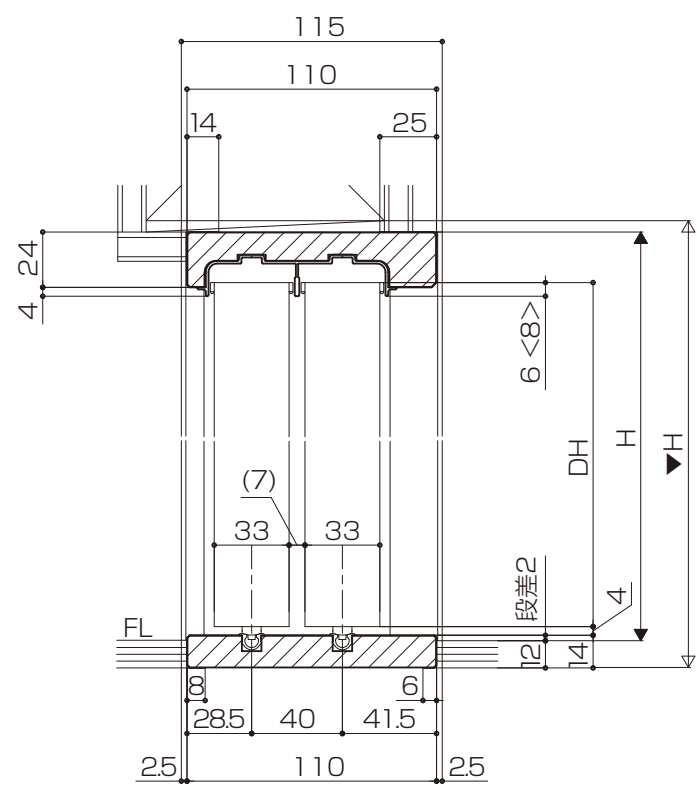
※調整ねじを弱方向に回す場合は、ブレーキの表面よりねじ頭を1.5mm以上出さないように調整してください。



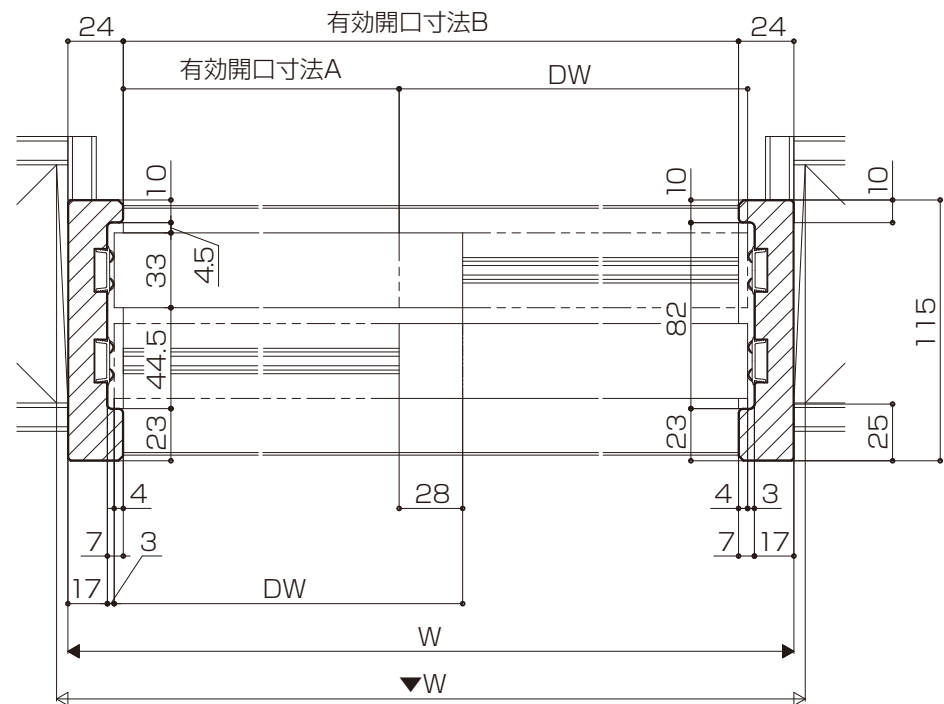
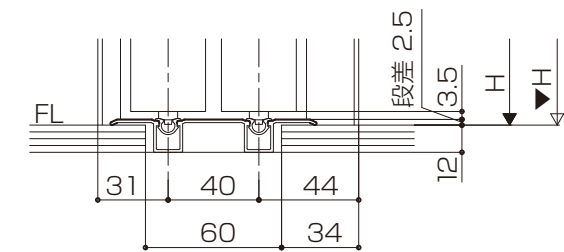
●本体がブレーキ部品に当たるときは、上下調整ねじを回して本体を下げてください。



●縦断面図

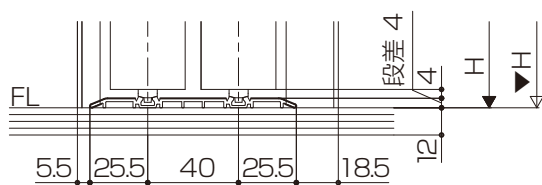


※＜＞内はフラット下ルール納まりの寸法を示します。



基本寸法 (mm)	W呼称	W16
	W	1644
	H呼称	H20
	H	2023

W呼称(桦外寸法)	A寸法	B寸法
W16(1644)	784	1596



- ・フラット下レール使用